

世代をつなぐ。未来をつくる。

千葉県 香取市議会議員

# かとう裕太 新聞

35号



2期目  
市議会議員  
2児の父  
37歳



道の駅発酵の里こうざき

今月の  
TOPICS

●これからの政策(重点政策) ●記者会見を開催

## ごあいさつ

2018年、最初の香取市議会議員選挙に当選してから、早いもので7年目を迎えました。これまで2期6年間、政治家として活動を続けてこれたのは、ひとえに皆様のご支援のおかげです。この6年間、すべての議会で一般質問を行い、900以上の質問・要望・提案を行政に届けてきました。その中で、給食費の一部無償化の実現、避難所の環境改善と備蓄品の充実といった成果を形にすることができました。

また、「地元の経済をなんとかして盛り上げたい!」という思いから、「香取市地元のもの乾杯を推進する条例」の条文を自ら書き上げ、香取市で初となる議員提案による条例制定も実現しました。

活動報告として発行している「かとう裕太新聞」は、これまで累計発行部数88万部を超え、今も駅での配布や新聞折込を通じて、多くの方にお届けしています。また、SNSでは13,500以上の投稿を通じて市政の現状を発信し、昨年12月からは香取地域各地で10回以上のミニ集会を開催させていただきました。私の考えをお伝えするとともに、地域の皆さんの声を直接伺ってきました。

これからも、香取地域のために全力で活動し、その成果をご報告するとともに、皆さんの声をしっかりと受け止め、行政に届けてまいります。今後とも変わらぬご指導・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

香取市議会議員 **かとう裕太**

2025年 2月4日 記者会見を行いました!

香取地域を前へ! 挑戦と決意

記者会見を行い「香取地域そして千葉県への思い・これまでの活動・そして今後の政策」についてお話しさせていただきました。会見では、まず新たな挑戦への決意を述べた後、記者の皆さまからのさまざまなご質問にお答えしました。それぞれの質問に対して、できる限り誠実にお答えするよう努めました。貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

今後も日々の取り組みや成果は、「かとう裕太新聞」やSNSを通じてお伝えし、地域の皆さまの声に耳を傾け、対話を重ねながら、さらに活動に反映させてまいります。これからの活動にも、ぜひ関心をお寄せいただき、ご意見をいただければ幸いです。



### かとう裕太の紹介動画をYouTubeで公開中!

動画では、最年少の香取市議会議員として2期6年間活動してきた経験や、37歳・2児の父としての視点から描く香取地域の未来への思いをまとめています。ぜひご覧いただき、私のこれまでの歩みや、これから目指すまちづくりについて知っていただけたら嬉しいです。また、ミニ集会の様子もYouTubeで公開中ですので、ぜひあわせてご覧ください!「かとう裕太チャンネル」に登録していただくと大変励みになります!



- かとう裕太** 1987年 5月 香取市佐原生まれ
- 2010年 コスモ石油株式会社 入社
- 2022年 香取市議会議員選挙最年少議員として2期目当選
- 2012年 有限会社加藤瓦店 入社
- 2024年 第二子が生まれ、香取市議会では史上初となる育休を取得
- 2018年 加藤裕太行政書士事務所 開設・香取市議会議員選挙で初当選、最年少議員になる
- 資格:行政書士/宅建士/基本情報技術者/国内旅行業務取扱管理者 **趣味:**野球、俳句、旅行

### かとう裕太が情熱を持ってあなたの元に駆けつけます!

- 香取地域について話し合いたい
- 暮らしの中の困り事を相談したい
- かとう裕太の情熱を確かめたい
- 政治のことを知りたい など

下記のメール・お電話、またはSNSのDM・コメントをいただければ、駆けつけます!お気軽にご連絡ください。

#### 発行元・連絡先

### かとう裕太後援会

〒287-0003 千葉県香取市佐原イ3340

電話 070-4168-1635

メール mail@yutakato.jp

こちらのQRコードから、すべてのSNSアカウントへアクセスできます!





香取地域の課題のひとつとして、人口減少や後継者・担い手不足への対応が挙げられます。課題解決のためには、何か一つをやればいい、というのではなく、様々な施策を組み合わせる必要があります。また、一つの自治体で対応できることもありますが、広域的な視点で千葉県と連携しながら

ら進めていくことで、さらに効果的な対策が打ち出せることも多いと考えます。香取地域と千葉県の橋渡し役として地域の声を伺い、しっかりと政策に反映し、人口減少や後継者・担い手不足を解決に導いていく覚悟です。

## これからの重点政策

### 医療・福祉の充実

人口減少対策には、移住・定住の推進と同様に、現在お住まいの方々が元気に、安心して長く暮らせる環境づくりが不可欠です。そのために、誰もが必要な医療や福祉を安心して受けられる仕組みを整えてまいります。

- 医師をはじめとする医療従事者や介護人材確保策の推進
- 感染症対応体制のさらなる整備と情報発信の拡充
- 地域内外の医療機関や福祉施設の連携強化
- 健康寿命の延伸策の推進
- 県立病院の機能強化と経営改善



### 防災・災害対策・防犯の強化

安心・安全なまちづくりが整っていないければ、人は集まらず、経済の発展も期待できません。そのため、災害時に迅速に対応できる体制を平常時からしっかりと構築するとともに、新たな防犯対策にも積極的に取り組んでまいります。

- 災害に強いインフラ整備
- 企業等との連携による災害対応能力の強化
- 県と市町との情報共有・災害対応体制の確立
- 災害時の電力・通信の確保
- 匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)等への対策強化



### 成田空港の機能強化とインフラ整備・経済活性化

成田空港の面積拡大により、第2の開港ともいえる機能強化が進む中、その推進に取り組むとともに、人手不足や住宅確保、交通対策、周辺インフラの整備といった課題にも対応してまいります。さらに、この機能強化の恩恵を香取地域にも広げるため、具体的な施策を実行してまいります。

- 成田空港の機能強化推進と国際競争力の強化
- 空港と地域を結ぶ交通や道路等インフラの整備
- 地域への企業誘致の推進
- 倍増する雇用と人手不足への対応策の推進
- 住宅の確保を含めた新しいまちの整備促進



### 物価高騰対策

長引く物価高騰により、住民の生活や事業者の経営に深刻な影響が及んでいます。こうした状況を踏まえ、物価高騰対策を迅速かつ的確に実施し、暮らしと経済活動を力強く支援してまいります。

- 光熱水費や燃料費等への支援
- 中小企業や農林水産業等への支援
- 給食の食材費等への支援
- 省力化・効率化の推進
- 消費喚起のための施策の促進



## さらに幅広く!これからの政策

### 課題1 子育て支援の充実

- 給食費や医療費など子育て世代・現役世代の負担軽減
- 妊娠前から出産、産後、子どもの自立までの不安を相談できる体制の構築
- 子どもの遊ぶ場所の充実
- 子育て・孫育てに関する情報提供の拡充
- 子育てしながら働きやすい環境の整備
- 返還支援制度も含めた奨学金制度の拡充



### 課題2 学校教育・生涯学習の充実

- ICT活用による個々の状況に合わせた教育の推進
- ICTメディアリテラシーの育成強化
- 活用を前提とした語学学習の充実
- 教員の負担軽減
- 学び方を学ぶ機会の創出
- 多様な文化に触れられる生涯学習の機会の確保



### 課題3 企業誘致・中小企業支援・起業支援

- 企業誘致に適した用地の確保とインフラ整備
- 成田空港の機能強化にあわせた企業誘致の促進と働く場所の確保、それに伴う新しいまちの整備促進
- 地域未来投資促進法の弾力的活用による企業誘致推進
- 奨学金返還支援制度を活用した人材の確保
- 若年層の起業機運醸成と支援の拡充
- 若年層に限らず幅広い世代への起業支援の充実
- 事業承継へのサポートの拡充



### 課題4 農業の振興

- 新規就農や規模拡大、生産力向上への支援
- 担い手への農地の集積・集約化を促進
- スマート農業の実装支援
- 海外輸出の強化
- 農福連携の推進
- ブランド化をはじめとする経営的視点を取り入れた儲かる農業の促進



### 課題5 デジタルトランスフォーメーション(DX)推進と積極的な情報発信

- 行政手続きのデジタル化の推進
- 行政手続きの簡素化・効率化
- 手数料等のキャッシュレス決済の推進
- 感染症や災害に関する情報へのアクセス向上と発信の強化

